

「face to faceを科学する」月刊イベントマーケティング

# EVENT 59 MARKETING

May 31, 2020

特集  
映像がつくるイベントの未来

発行所：株式会社 MICE 研究所  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-12-9 ABCビル 5F  
TEL:03-6721-5303 sofu@event-marketing.co.jp

TAKE FREE

www.event-marketing.co.jp



## 1億総メディア時代の幕開け？

緊急事態宣言が一段落しそうな気配だが（5月24日現在）、まだまだソーシャルディスタンスの確保など、コロナ前のようにイベントが開催できる状態になるのは時間がかかりそうだ。事態が沈静化したとしても新型コロナの第2波や、別のウイルスの危機がくるかもしれない。新しい生活様式、新しい働き方としてすでに浸透しつつあるのが、Zoomなどのウェブ

会議、イベント・セミナーのオンライン配信だ。イベマケ編集部も打合せや取材はリモートで行い、YouTubeLiveやFacebookLiveで、コンテンツ配信をはじめている。（チャンネル登録よろしくお願いします）自分でコンテンツをつくらなくても、SNSにコメントしたり、簡単な動画を掲載したり、blogやnoteなど、誰もが気軽に自分のメッ

セージや知見を発信できるようになった。そんななか自粛警察や感染者への誹謗中傷、コロナではないが、番組の出演者への言葉の暴力など、SNSの負の面もみられた。ソーシャルメディアが既存のマスメディアより優れているのは、双方向性があることや、印刷・配送・放送枠などの物理的制限が少ないこと。しかし便利になった反面、悪意・悪用

するのも容易ということ。逆に言えばイベマケのような紙媒体は、印刷代・配送費と費用をかけていることが1つのフィルターになって、信頼をおかれている一面もある。イベントも同じではないだろうか、費用をかけて情報発信やコミュニケーションの場を用意するというマインドが、企業のファンを増やしていく。コロナ後もイベントの開催が困難でありつづけても、それを乗り越える熱意と努力が、まで以上にイベントの価値や、顧客エンゲージメントを向上していくだろう。つまり、早くイベントに行きたいってこと。

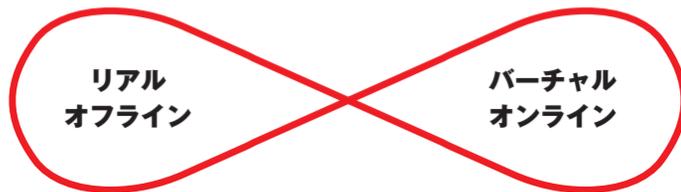
**すべてのイベントの悩みは、イベントレジストにお任せください！**  
ビジネスイベントの豊富な経験と実績、イベント主催者様の立場になってサポートします

- 申込受付管理**  
ウェブ事前受付  
オンライン決済  
チケット発券
- 各種事務局**  
来場者事務局  
スポンサー事務局  
登壇者事務局
- 企画制作・運営**  
カンファレンス  
各種イベントの  
企画制作・運営
- 集客広告**  
各種ウェブ広告  
各種 SNS 広告の  
提案・運用

**イベントレジスト株式会社**  
http://eventregist.com 【資料請求・お問い合わせ】 MAIL:contact@eventregist.com TEL:03-6869-5592

# 映像がつくるイベントの未来

主催者は、オフラインイベントの代替としてのオンラインイベントだけではない、リアルもバーチャルも併催した形の新型イベントをプランニングする必要がでてきそう



制約のなかでのイベント開催では、映像が大きな役割を果たしている。

映像は、オフラインのリアルイベント内での表現手段としてだけでなく、オンラインイベントへの参加スタイルが定着しつつあるいま、新たな参加手段として、外に向けて、いつ、誰に、どのように伝えるか、全体設計から構築しなおす必要がでてきた。各社の配信パッケージプランや新しい表現を追求するメーカーの動きまで紹介する

## リアルイベントとオンラインイベント

リアルイベント	オンデマンド配信イベント	ライブ配信イベント	バーチャルイベント	ハイブリッドイベント
同時性	同時性	同時性	同時性	同時性
参加自由度	参加自由度	参加自由度	参加自由度	参加自由度
没入感	没入感	没入感	没入感	没入感
双方向・一体感	双方向・一体感	双方向・一体感	双方向・一体感	双方向・一体感
限定した空間と時間を共有して開催	事前に撮影・編集してオンライン上で公開	ライブ映像をオンライン上で公開	仮想空間上でコンテンツを展開	リアルイベントと併催でライブ配信やバーチャルイベントを実施
時間・空間の制約がある分、業界別・関心軸での効率的な出会いや体験効果による共感が生まれる。	時間の制約なく、いつでも参加できる形式のため、多くの視聴者にリーチができる。	ゲーム性の追加やチャット・コメントで双方向性ある場づくり・一体感の創出が可能。	世界観の創出や仮想空間上での行動データの蓄積が可能。空間構築に時間がかかる。	参加の選択肢がふえ、多くのリーチにつながる。オンライン、オフラインの双方を補完する。
例： 展示会、カンファレンス、セミナーなど全般	例： 研修・セミナー、講演会など	例： カンファレンス、社員総会、記者発表など	例： 展示会、プライベートショー、音楽ライブなど	例： 展示会、カンファレンス、グループワーク、研修・セミナーなど

それぞれの特性を生かし、目的によって使い分けができるようになったとも言える

閉設のお知らせ

弊社事業イベント仮設テント MOVE-S の見学期間を当初の予定では5月末までとさせて頂いておりましたが、新型コロナウイルスの影響によりイベントの延期や中止が頻発している為、閉設を3月末に前倒しとさせて頂きます。

ご愛顧頂きました方々には誠に申し訳ございませんが何卒宜しくお願い致します。

西尾レントオール(株)  
RA 東日本営業部  
TEL : 03-5765-9240  
FAX : 03-5765-3240  
http://event.nishio-rent.co.jp

その他テント等レンタル品、イベントサポート等に関しては右記お問い合わせ先より、随時お問い合わせ受付けております。

総合レンタル業のバイオニア  
西尾レントオール株式会社

リアルをバーチャルに

Virtual Experience  
SYMUNITY GROUP

代わりではない  
新たな体感  
体験価値を

シンコミュニティグループは、これまで培ってきたイベントに関する様々なノウハウを駆使し、トータルでバーチャルイベントを手掛けます。

SYMIRECT TAKENAKA ARK Ventures Tasc Service TEPiS

# 映像演出の進化が 新たな情報の伝わり方を生む

—— タケナカ/シムディレクト (シンユニティグループ)

トップクリエイターが制作した映像コンテンツを最先端の映像・音響機器を運用して、会場に非日常空間をつくりだしてきたイベントの映像会社。コロナ禍でイベントが中止になっているなか、その高いビジュアル技術をどう活かしているのだろうか。

## 代替ではなく新しい価値を

プロジェクションマッピングやライブイベント、展示会などで映像を用いた空間づくりをてがけるシンユニティグループは、バーチャルイベントのトータルソリューションを開発。「リアルをバーチャルに“代わり”ではない新たな体感・体験価値」をモットーに掲げて、同社独自の高品質で細部にまでこだわる映像制作、VR、バーチャルキャラクター、インタラクティブ、プログラミング、配信、イベント運営のノウハウを駆使して、人とつながるさまざまな空間をつくりだしている。

同グループのバーチャル・エクスペリエンス専用ページでは、VR、AR、仮想空間・空間拡張技術をまとめた表現をXR(クロスリアリティ)として、現実の舞台空間、人物、音響、観客に加えて、バーチャル表現である3D空間、バーチャルキャラクター、イマーシブオーディオ、バーチャル観客を組合せて、リアルと現実が交差する空間づくりを紹介している。

たとえばバーチャル展示会(写真1)は、仮想空間のなかを3Dゲームのように自由に行き来し、振り返ると後ろの景色がみえる。立体映像で展示ブースを設置、近づく立体映像の説明員がでてきて説明したり、実際の実験員とつないでリアルタイムで話ができる機能なども今後のアイテムとして加える予定だ。

(株)シムディレクト代表取締役の長崎英樹さんは、「プレゼンボタンを押したら画面に動画が流れる、商品概要のボタンを押すとスペックが表示される、というのは普通のウェブサイトと同じ。オンライン展示会とは言えるかもしれないが、バーチャルではない。私たちに求

められているのは、リアルのイベントに近い、もしくはそれを超える体験を提供し、企業と人との新しい接点をつくること」と語る。

商品説明の動画をプロのプレゼンテーションへと昇華させるバーチャルスタジオ、BACKSTAGEでも注目を集めたJoinVisual(写真2)はアナライザー自体が映像演出にもなるインタラクティブ参加システム。参加体験を向上させるソリューションをどう組み合わせ、活用して、バーチャルイベントを設計するかはイベントプランナーの腕の見せどころだ。表彰式、学会、展示会、ライブ、eSports、さまざまなタイプの催事があるが、最適なツールの組合せはそれぞれに違いそうだ。

イベントができないから仕方なくオンライン開催で代替するという現状から、オンラインとリアルの良いところを融合したハイブリッドイベントがアフターコロナの新しいスタンダードになりそうだ。

## 解像度とリアリティは比例する

「ほとんどのイベントは中止や延期になっているなか、バーチャルイベントのニーズは高まっています」と長崎さんは言う。同社への問合せの多くは、映像をウェブで流すというシンプルなことではなく、リアルのイベントと同じような、あるいはそれ以上のコミュニケーションづくりだという。

1対多の一方通行の情報伝達はウェビナーで実現できるが、多対多や双方のコミュニケーションをオンラインで実現するには、人間がリアルで無意識に行っている、多くの情報を集めそれに対して複雑な処理を高速で行わなければいけない。同社が得意とするクオリティの高いビジュアル演出とインタラクティブ技術があつてはじめて、情報を得たり、体験・体感を共有したり、コンテンツを楽しんだり、良質なコミュニケーションの場を創出することができる。エンターテインメントの体験価値向上においても、ディテールまで表現する高精細画像、イマーシブサウンドによる臨場感といった、リアリティを出す映像・音響演出が絶

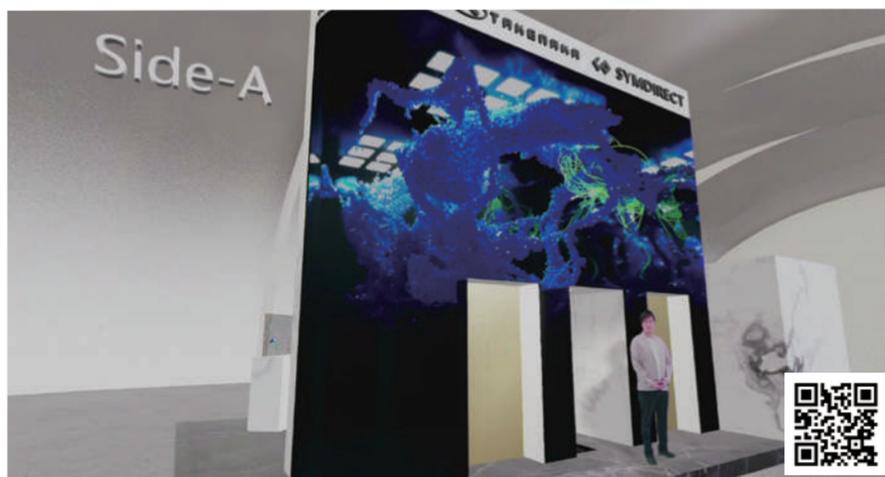


写真1:バーチャル展示会はブースに説明員の3D映像を配置したり、会場内を自由に歩いたり、エフェクトなどさまざまな演出が組み込まれる。各ソリューションの映像はQRコードから

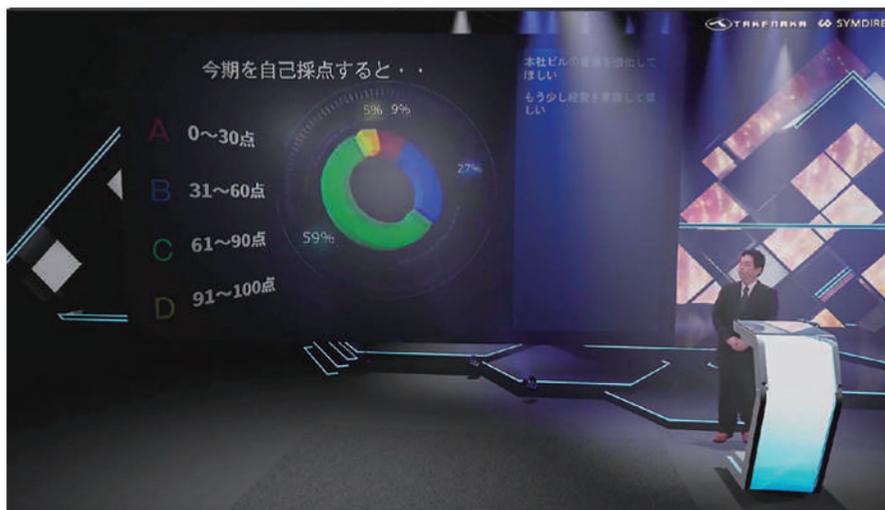


写真2:JoinVisualはBACKSTAGEでも利用されたビジュアル重視のアナライザー。双方方向のコミュニケーションだけでなく、会場の画づくりができる

対条件となる。

これまでイベントの映像・音響演出の品質向上は、イベントに適した会場のなかで高性能な機材と高い能力のオペレーターを集約させて、最高の環境をつくる方向で進んできた。しかし、コロナ禍の収束後に、オンラインへの移行やイベントのハイブリッド化が進むと、ユーザー側の環境でも品質の高いバーチャル体験ができるように、誰もがもつ汎用的な機材(PCやヘッドホン)などで、高性能な機材での演出に近い品質を擬似的に再現する技術や演出手法が求められそうだ。たとえば2チャンネルのステレオヘッドフォンで10.1チャンネルのイマーシブオーディオのように聞かせるような技術だ。「5Gが普及すれば高品質な映像を一人ひとりのデバイスに提供できるでしょう。当社はオンラインの会社へ舵を切ろうとしています」(長崎さん)。現在、同社のソリュー



長崎 英樹さん  
(株)シムディレクト 代表取締役  
バーチャル入社式では、大阪にいる(株)タケナカの武仲秀晃代表取締役(右)の呼び込みで東京にいる長崎さん(左)がエフェクト付きで登場。「なぜか爆笑がおきた」

ションを紹介するXR展示会を企画中。バーチャルマッピングなどエンタメ系の楽しいコンテンツも盛り込まれそうだ。

人と会う。直接話をする。その手法にバーチャルという選択肢が加わることで、イベントのあり方が大きく変わる。いまはその過渡期にいるようだ。

株主総会などクローズドのイベントで有効活用

イベントサイト & アプリ 内で  
スマートなライブ配信を提供!

eventos  
https://eventos.tokyo

**CHRISTIE®**  
レーザープロジェクターはクリスティ

3DLPレーザーフォスファープロジェクター  
**Christie Crimson HD31**

- ・31,500 ISOルーメン・Roadster HD20K-Jの後継機
- ・Jシリーズ、Mシリーズのレンズ使用可
- ・レーザーフォスファア光源(Christie BoldColorテクノロジー搭載)

ウシオライティング株式会社  
本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-9-1 Tel:03-6316-2261(直) [www.christie.jp](http://www.christie.jp)

# 「オンライン配信イベント」ソリューション提供会社一覧

2020  
年版

現在、イベントライブは3蜜を避け、オンラインでのイベント実施やコミュニケーション活動が、グッと増えてきた。それに伴って、オンラインイベントは代替手段から、オンラインを前提とした付加価値の提供へと、高度化・多様化し、イベント再開時には参加手法として選択肢の一つとなりそうだ。



ここでは、オンラインイベント実施に、機材提供だけでなく、企画から制作、マーケティング設計の提案まで、ソリューション提供している会社について紹介します。\*想定イベント：ウェビナー、カンファレンス、研修、株主総会、社員総会、記者会見、就職説明会など、1対多のイベント

◎：自社提供、○：手配可能（一式サービス内\*オンラインイベントのパッケージとして）、△：手配可能（一式サービス外）、×：提供不可

項目	会場				映像				音響				配信		マーケティング 全体統括		
	コーディネイト	企画	撮影	CG	編集	撮影	照明	編集	収録・編集	ライブ配信	配信	マーケティング	全体統括				
詳細	スタジオ貸与 会場手配	映像ディレクション (企画・進行)	カメラマン 手配	グラフィック・ 3D制作	映像・ 音響編集	撮影機材 モニター	照明機材	編集機材・ ソフト 編集室	音響 オペレーター 手配	マイク ケーブル	ミキサー	アンプ (音質・ 音量調整 入力切替)	モニター スピーカー	配信スタッフ 手配 (スイッチング等)	配信機器 スイッチャー モニター	施策	機材設定 全体コー ディネート
		企画・制作				機器レンタル			オペレーション	PA 機材レンタル			オペレーション	機材レンタル			

## ヒビノメディアテクニカル株

提供	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：映像・音響・配信機材のレンタル・システム提案、及びオペレーション業務をはじめ、企画立案・運營業務・演出進行などのプランニングを手掛ける、イベント&コンベンションビジネスを支えるプロ集団です。

実績：参考価格：企業様オンラインセミナー（100名規模）/一式100万他。映像・音響・配信機材のレンタル提供及びオペレート業務

## 株式会社教映社

提供	△	○	◎	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	○
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：私たちは以前よりメディアライブ中継やイベント配信などを年間100件以上受注しており、豊富なオンライン・オフラインでの実績があります。特にメディアライブでの双方向中継においては国内で高い評価をいただいております。

実績：Japan Endovascular Treatment Conference2020(JETTALKS ON AIR2020)（2020年4月下旬配信）

## 株式会社映像センター

提供	△	○	○	△	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	△
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：これまで培ったイベント業務に携わるノウハウをそのままオンラインイベントに移行できます。YoutubeやZoom等の無料の通信手段だけでなく、セキュアな回線もご用意可能です。お客様の心配される部分をしっかりと受け止めて対応しますのでぜひご相談ください。

実績・参考価格：イベント映像事業部へお問い合わせください

## 株式会社銀座サクラヤ

提供	×	△	○	△	○	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：放送用機材（ライブ配信用機材含）とイベント向け送出、表示用機器をオペレーションのサービスを合わせて提供できます。

実績：ゲームイベント配信実績多数

## 株式会社シーマ

提供	×	△	△	△	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	△
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：配信関連に必要な機器提案やセッティング等ご相談ください。配信元、配信先に必要な各種モニターや各種機器多数ご準備できます。

実績・参考価格：配信機器貸し出し1週間5万円～（参考価格）

## イベキャス

提供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：イベントに関わる、企画・制作、チケットング、オンライン配信、映像制作、プロジェクト・マネジメントの各分野で実績のある4社（株式会社Jストリーム、イベントレジスト株式会社、株式会社LockUP、株式会社TAMARIBA）が集結し、ワンストップオンライン配信パッケージを開発いたしました。各社の強みを生かしたソリューションで、セミナー、講演、トークショー、音楽ライブ、など幅広いカテゴリーへの対応が可能です。

実績・参考価格：パッケージ料金100万円～。https://evecas.com/ 多数お問い合わせいただき、イベントに合わせて、ご提案中

## 株式会社ヒマナイス/ヒマナイススタジオ(大手町・六本木・高円寺)

提供	◎	×	×	×	×	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：ヒマナイススタジオは4台のミラーレスカメラと4本のマイク、照明、スイッチャー、配信エンコーダー4系統を常設したライブ配信&収録スタジオです。手ぶらで来てすぐに配信と収録が出来るのが特徴で2時間1枠が4万円からお使いいただけます。ウェビナー、企業説明会、オンラインショップの即売会、対談、座談会まで柔軟に対応いたします。計算され尽くした美術と照明でワンランク上の配信をしたい方にぜひご利用いただきたいと思っております。

実績：アドビシステムズ株式会社、イッツ・コミュニケーション株式会社、株式会社ポケットマルシェ、株式会社ディービーエヌ、株式会社ビズライト・テクノロジー、サヴァリ株式会社、農工商連携サポートセンター、宗教法人願正寺。

参考価格：40000円/2時間（自動スイッチング）、60000円/2時間（テクニカルサポート付き）



face to face を科学するイベントメディア

# オンラインも強い EVENT MARKETING

最新ニュースやアーカイブ、  
バックナンバーも読めるウェブサイト

特集記事の裏話や  
イベマケ編集部  
の日常がわかるメルマガ

<http://www.event-marketing.co.jp>  
Facebook と Twitter もやってます

◎：自社提供、○：手配可能（一式サービス内\*オンラインイベントのパッケージとして）、△：手配可能（一式サービス外）、×：提供不可

項目	会場					映像					音響					配信		マーケティング	全体統括
	コーディネート	企画	撮影	CG	編集	撮影	照明	編集	収録・編集	収録・編集	収録・編集	収録・編集	収録・編集	収録・編集	収録・編集	ライブ配信	マーケティング	ディレクター	
詳細	スタジオ貸与 会場手配	映像ディレクション (企画・進行)	カメラマン 手配	グラフィック・ 3D制作	映像・ 音響編集	撮影機材 モニター	照明機材	編集機材・ ソフト 編集室	オペレーション	PA機材レンタル	マイク ケーブル	ミキサー	アンプ (音質・ 音量調整 入力切替)	モニター スピーカー	配信スタッフ 手配 (スイッチング等)	配信機器 スイッチャー モニター	コンサルティング レポート作成	機材設定 全体コー ディネート	
	提供	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	

株式会社ホットスケープ

提供	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：イベント制作会社でありながら、いち早くオンライン配信に着手。昨年の6月には自社にてライブ配信機材を揃えて対応を先駆けていました。主催者の目的や内容を踏まえて、適正な配信ツールソフトを提案します。今後のリアルとオンラインのハイブリッド化を見据えて、それぞれの価値を活かした演出を用いて、主催者のサポートをしていきます。

実績：参考価格：無観客での簡易的な配信機材と配信サポート 一式 30万円～

株式会社Yuinchu (「GOBLIN.」生配信プラン)

提供	◎	○	△	△	×	×	×	◎	×	×	×	×	◎	×	△	△
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：オンラインセミナー、会社説明会やライブなど、リアルタイム配信利用をGOBLIN.がサポートします。GOBLIN.のプランナーがセレクトする空間だからスペースは一定のクオリティをお約束。高画質 & 高音質配信を、スタジオ選定と共にワンストップでオーダーできます。気軽に・手軽にオーダーすることができ、オフラインのイベントにも連動して実施することができます。

参考価格：パッケージ料金：Aプラン＝59,800円(税別) / スペース2.5H + カメラ1台 + PC画面配信、Bプラン＝110,000円(税別) / スペース3.5H + カメラ2台 + PC画面配信、Cプラン＝150,000円(税別) / スペース4.5H + カメラ3台 + PC画面配信 or カメラ1台(合計4台) <https://goblinspace.jp/live-streaming/>

株式会社博展 (ONLINE EXPERIENCE SOLUTION)

提供	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：イベントのプロが、単なる個別ツールの提供ではない、顧客の課題に合わせて総合的なプランニングで最適なソリューションをご提供します。イベント前の準備からイベント後のアフターフォローまでワンストップで対応します。①事前準備 (Webサイト制作、マルチセッション登録型プラットフォーム、集客メール配信、申込者管理等)、②当日対応 (動画撮影、ライブ配信、視聴者データ確認、チャット等)、③アフターフォロー (サンクスメール、データ分析 / 活用フォロー、事後アンケート、オンデマンド / 録画配信等)

実績：オンラインイベント ミニムプラン (1トラック、5セッション想定) 一式 120万円 (税別) ～

株式会社インフィールド/東京ポートシティ竹芝 (ポートホール/ポートスタジオ)

提供	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○
----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

特徴：インフィールドは都内の貸しホール・会議室の施設管理、イベント運営を行う会社です。各施設にはコーディネーターが常駐、イベント実施にむけた基本的なスキルに加え、映像・音響などのテクニカルな知識とホスピタリティを備え、1社1担当制でお客様のイベントをトータルサポートしています。2020年9月、新規運営会場として、竹芝に配信対応可能な撮影スタジオ「PORTSTUDIO」の開業を予定しております。オンラインの拡張性とオフラインの浸透性をハイブリッドに兼ね備えた施設をぜひご利用ください。\*その他施設でもオンライン対応可能です。先ずはお気軽にご相談ください

参考価格：一方通行のオンライン配信 ¥215,000～ / 一式 \*会場費、PJ+SC等の機材費、編集費は別途発生致します。 ポートスタジオ URL <https://www.portcity-hall.tokyo/>

オンライン配信番組

「コースケ・よーこの不要不急な話」の舞台裏

本紙でも、小さくスタートした配信番組。その舞台裏をご紹介します。オンラインのLIVE配信を定期的にするのには、どんな用意をすればよいのか、のぞいてみましょう。



番組名：「コースケ・よーこの不要不急な話」  
配信：Facebook ライブ、YouTube LIVE  
頻度：毎週不定期に配信中

**グラフィック**

- ・タイトルロゴ
- ・背景 ph セレクト
- ・全体レイアウト



**出演者**



・撮影は各出演者のPC内蔵カメラ (カメラマンなしのため固定)



**照明**

・顔を明るく!

**マイク**

・音質は大事!

**映像ディレクション  
音響オペレーター**



**スイッチャー**



・画面切替を操作

**PA機器**

・音をチューニング



**配信機器**

・ライブ配信 & 録画デバイス

\*簡略版。キャプチャーボード、HDMI分岐、LAN分配、配信確認用PCなどは省略

**編集ソフト**

・OBS



**EVENT MARKETING** からの大事なお知らせ

**展示会・イベント会場特集**  
**地域コンセプトを具現化する場**

次の2020年6月30日号で特集します

取材する私に会いに来て♡

- 7月31日 食こそイベント! イバマケ5周年
- 8月31日 イベントの演出・盛り上がり要因を分解
- 9月30日 イベントは大阪だ! エネルギーが止まらない
- 10月31日 イベント人材の採り育て方
- 11月30日 スポーツ・地域・スタジアム

広告出稿の間合せはこちら▷株式会社 MICE 研究所  
info@event-marketing.co.jp (担当: 田中力)

**EventBuzzle**

イベントを、もっとラクに、  
もっと楽しくできるはず

いま、イベントバズールは、皆さまのお役に立つため、さらに見やすく、さらに情報を増やして、生まれ変わろうとしています。

<http://eventbuzzle.com>

ただいま、リニューアル中  
もう少々お待ちください

# アフターコロナに向けて 進化続けるイベント映像

With コロナで脚光を浴びた映像配信。

一方イベント自粛で表舞台から消えたように見えるイベントでの大型映像演出だが、After コロナに向けて着々と進化している。そのようすを覗いてみよう。

## 分離することで高輝度でも省スペースに

—— クリスティ

ドバイ万博に、オフィシャル・プロジェクション&ディスプレイパートナーとして高輝度プロジェクター約250台を納入したクリスティ。

万博の開催は延期になり、また、ユーザーである大型テーマパークや映画館などの施設も休止しているが、それぞれの再開を視野に入れ、新製品の市場投入準備にイベント再開に向けて、新商品の導入準備に余念がない。なかでもイベントプランナーが注目すべきアイテムは、今年2月のISE (Integrated Systems Europe) で発表されたMirage SSTだろう。

特長の一つが、プロジェクターヘッドとレーザーユニット(光源)、チラー(冷却機)が分離式になっていること。高輝度のプロジェクターは、構造上大きく重くなってしまう、ライブ会場ではステージが見渡せるもともいい場所を占拠してしまううえに、その存在感が、

コンテンツのじゃまをしてしまう。Mirage SSTは重量でいえば全体の約1/4にあたるプロジェクターヘッド(51kg)だけステージ近くに設置し、他の機構は独自の光ファイバーで接続することで、最大50m先まで離れた場所に置くことができる。

次いで挙げられるのは、120Hzフレームレートを2分割して、左右の目用に別々の映像を映し出し、高解像度を保ちながら3D投影する、フレームシーケンシャル機構だ。オープンな空間、複数が同時体験できるため、イベントでのバーチャルコンテンツに適している。

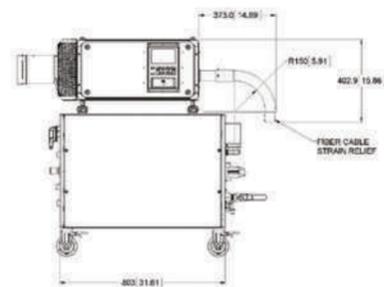
イベントでの疑似体験にどれだけのめりこませられるかは、高輝度・高解像度・色域の表現といった映像の品質に関わっている。Mirage SSTは3万5,000から最大5万ルーメンの高輝度、4K高解像度に加え、色

純度が高いRGBレーザー光源の採用によりRec.2020の色域のほぼ全域カバーするなど、次世代の映像規格を備えた仕様になっている。もう一つイベントプランナーにとってありがたい特長は、長時間の上映中に映像をとめることなく、キャリブレーション(調整)できるクリスティ・ガーディアンという機能だ(オプション)。調整に必要な格子柄の映像を目に見えない1フレームだけ投影し、内蔵カメラで映像を捉え自動補正するしくみだ。

ウシオライティング(株)クリスティ事業部マーケティング担当の根岸健次郎さんは「イベント自粛が続いていますが、この時期に新しいコンテンツの開発を皆様進めていらっしゃるようです。当社も新技術の開発やスタッフのスキルアップを行っており、再開後にこれまでより進化した新しいイベントのカタチに見合った、



クリスティ MirageSST



上) プロジェクターヘッドと光源ユニットは50mまで離して設置できる。

右) 根岸 健次郎さん  
ウシオライティング(株)  
エンタテインメント事業部クリスティ営業部 マーケティング担当



映像表現ができるよう準備をしています」

コロナ後、スタートダッシュを切るうえで、この時期を有効活用できるかが、次に向けてのカギとなりそうだ。

## ライブ映像もIT/IP化へ

—— パナソニック

パナソニックはIT/IPベースのライブ映像プラットフォーム「KAIROS(ケイロス)」の今夏発売を発表した。ST 2110、NDI、SDIなど多様な映像入出力に対応し、HD/UHDなどさまざまな解像度とフォーマット、16:9だけでなく32:9など特殊な画角にも対応する。ME数・KEY数の制約に縛られずGPUパワーの許す限りレイヤーを重ねられるといった特長を備え、従来のライブスイッチャーと比べて非常に高い自由度を提供。ライブ映像制作のクオリティと生産性を飛躍的に向上させる次世代ライブ映像システムとなっている。

また、一般的な画像編集アプリのような直感的で使いやすいGUIと、レイアウトを自由にカスタマイズできるコントロールパネルによって、ユーザーの創造性を解き放ち、操作性を高めつつ、省スペースの運用を実現する。最短1フレームの遅延を実現し、PTP(Precision Time Protocol)同期もサポートしている。さらに、オープンソフトウェアアーキテクチャーに基づくIT/IPプラットフォームなためシステムの拡張や統合化が容易で、フレキシブル、ダイナミック、かつパワフルな制作システムを構築できる。スポーツ、コンサート、各種イベントの映像制作・会場演出において、表現力豊かなライブ映像を効率よく制作・運用できる。

以前より同社はより魅力あるコンテンツを効率良く制作する「スマートスタジオ」のコンセプトを提唱していた。そのような中、新型コロナウイルスによる感染拡大により、人々の生活スタイル、企業活動においても、さまざまな新



しい技術や手法への転換が加速しており、映像分野でもさまざまなニーズが掘り起こされている。そのなかでIT/IPによる映像制御は、すべての信号をGPU/CPUで処理するため、さまざまな映像フォーマットの混在運用や外部機器連携、システムの統合化、オペレーションの制御・自動化など、IT技術の進化を映像分野にそのまま取り込めるようになる。同社では、映像制作ワークフローを効率的に運用するソリューションを提供し、コロナ後のイベント開催に向けた要望・期待に応えている。

同社は5月7日にオンラインイベント「The Future of Video Production: Virtual Broadcast」を開催した。映像制作の未来をテーマに制作現場にむけたソリューションを紹介した。そのようすは下記のQRコードから



## 高精細を支える細部へのこだわり

—— ヒビノ



下) フレームとパネルが分離しており、奥行きを含めて微調整できるので、パネルのソリや歪みによる隙間を解消

右) 内覧会で披露された約12m x 3mの8Kワイドスクリーンは迫力と高精細が両立

コンサートの音響システムやイベントの映像システムの企画、運営をてがげるヒビノ(株)は、新しくROE Visual社の1.5mmピッチLEDパネル「SAPPHIRE 1.5」の運用を開始した。同製品は横494.4mm、高さ278.1mmとパネル1枚が16:9のアスペクト比となっている。またフレームとパネルが分離した設計も特徴でコストと生産性の双方を高める。このフレームは奥行き方向にもドライバー1本で微調整できる。施工と撤去を繰り返すイベントでの利用によって、パネルのそりやフレームの歪みが生じることもある。それにより画面上に黒い線が見えてしまったり、画像のゆがみにもつながる。映像が高精細になればなるほど、コンマ数ミリの小さなズレが映像品質に大きな影響を与える。そのほかコネクタの堅牢性向上などイベントでの使用に適した仕様になっている。

2月末にヒビノ社内で行われた内覧会では、「SAPPHIRE 1.5」を使用して約12m x 3m

のスクリーンを構築し、横7680、縦2160ピクセルのワイド8Kオリジナルコンテンツを上映し、高い表現力を映像関係者にアピールした。アメリカでの在庫も含めるとフル8Kの映像も構築できるという。

同社業務部長の菊地利之さんは「現在はライブコンサートやスポーツの大会といった大型LEDを使用するイベントは開催できない状況にありますが、その間にこの商品を含めた、新製品のプロセッシングの部分の調整や、表現手法の研究などを行って、コロナ後の需要に備えています。映像の分野は撮影・制作、送出などすべての分野で進化しつづけています。ライブや展示会で使用するLEDパネルも、以前は9mmや5mmのものが多かったのですが、そろそろ1mm台のピッチが主流になってきそうです。メガイベントの開催で高精細な映像が普及していくことが予想されるが、現場を支える技術は着実に進化している。

# 第6回 JACE イベントアワード 優秀賞7作品を発表

※ []内は主催者名

○ファクトリーでアート賞

えひめさんざん物語「アーティスト in ファクトリー」  
【東予東部圏域振興イベント実行委員会】



(一社)日本イベント産業振興協会(JACE)は、「第6回JACEイベントアワード」の優秀賞(部門賞)を発表した。

自薦・他薦による応募147のイベントから7作品が選ばれた。このなかから、全国約2400人のイベント業務管理士による事前のWeb投票獲得票に加え、選考委員により選ばれたイベントが「最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)」となる。

日本イベント大賞の発は6月10日に  
行われる。

日本イベント大賞は、JACEが創立15周年事業として、2004年に経済産業省の後援を得てスタートさせた顕彰制度。以降1年をおいて第2回(2006年)から第6回(2010年)まで事業を継続したが、2011年3月11日の東日本大震災の罹災を機に事業の休止。2011年日本JACEアワードとして再開。

○歌舞舞いで賞

南座新開場記念「京都ミライまつり2019」  
【主催・製作・企画】松竹株式会社



○e-イベントで賞

STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019  
【STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019 実行委員会】



○ドローンで異次元になったで賞

TOKYO MOTOR SHOW 2019 FUTURE DRONE ENTERTAINMENT "CONTACT"  
【一般社団法人日本自動車工業会】



○分散を集合で役に立つで賞

トヨタ防災給電プロジェクト  
〜クルマでライトアップ2019〜  
【トヨタ自動車株式会社】



○ブレンドで味わう日本経済賞

NIKKEI BLEND  
【株式会社日本経済新聞社】



○おうちでシェフ気分de賞

Restaurant Sans Chef  
「シェフのいないレストラン」  
【イオン株式会社】



優秀賞	イベント名称(五十音順)	主催者名
ファクトリーでアート賞	えひめさんざん物語 「アーティスト in ファクトリー」	東予東部圏域振興イベント実行委員会 (愛媛県、新居浜市、西条市、四国中央市及び経済団体、観光団体、テーマ関連団体等)
歌舞舞いで賞	南座新開場記念「京都ミライまつり2019」	(主催・製作・企画) 松竹株式会社
e-イベントで賞	STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019	STAGE:0 eSPORTS High-School Championship 2019 実行委員会
ドローンで異次元になったで賞	TOKYO MOTOR SHOW 2019 FUTURE DRONE ENTERTAINMENT "CONTACT"	一般社団法人日本自動車工業会
分散を集合で役に立つで賞	トヨタ防災給電プロジェクト 〜クルマでライトアップ2019〜	トヨタ自動車株式会社
ブレンドで味わう日本経済賞	NIKKEI BLEND	株式会社日本経済新聞社
おうちでシェフ気分de賞	Restaurant Sans Chef〜シェフのいないレストラン〜	イオン株式会社

## イベント開催 段階的に

東京都は、5月22日、休業要請の緩和措置として、現状、自粛を要請しているイベント開催については、3ステップで段階的な開催への道筋を示した。

・STEP 1: 50人までの開催

・STEP 2: 100人までの開催

・STEP 3: 1000人までの開催

を可能とするというもの。イベントの人数上限等については、今後の国の対処方針等の状況を踏まえ、対応を検討するとしている。

### —— 東京都

緩和措置は、「感染(疫学的)状況」の指標が全て緩和の目安を下回った場合、その他の指標も勘案しながら、審議会の意見を踏まえ、総合的な判断により、緩和を実施。緩和については、2週間単位をベースに状況を

評価し、段階的に実施する。

事業者向けの東京都感染拡大防止ガイドラインで、「イベント」事業者向けには、以下の内容が提示されている。

・イベントを主催する場合は、観客同士が密な状態とならないよう、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応を行う

・来場者の募集に際しては、来場者に対して大声での発声や歌唱、声援を行わないなど、来場者が順守すべき事項をあらかじめ明示する

・来場者が順守すべき事項は、イベント受付など会場の至る場所に掲示等を行うとともに、イベントの合間等を活用し定期的なアナウンスを行うなどの取組を講じる

マーケティングではどちらを先に考えるべきか?

A 戦術 82% B 戦略

投票受付中

2020 12.21 MON @TORANOMON HILLS FORUM  
体験型マーケティングに学び、出会う1日  
#backstage20  
~初の冬開催~

今年の冬は暑くなる

## 「078Kobe ONLINE」

に学ぶ

### 制約を楽しみ、新しいを生んで、育てる

「078Kobe ONLINE」が5月2日・3日の2日間、行われた。参加者には、さまざまな参加方法のオンライン会場が用意され、バーチャル上で参加者同士コメントを交わしあったり、登壇者にコメントした内容がピックアップされて議論になったり、初対面同士テーブルに着いてビデオチャットがはじまったりと、どのオンライン会場でも、空間を越えた交流が展開された。

「今回のイベントを野外フェスティバルに捉え直す」と、大きく9つのオンライン会場がありました」

078KOBE 実行委員会スタッフで、「078 2020 ONLINE」の統括もした舟橋健雄さんは説明する。リアルイベントの開催からオンラインへの切り替えが決まった当初は、セッション関連での動画配信中心のシンプルな想定だったそう。「どんどんと構想がふくらみ、実験的取り組みとしてツールを活用したり、ひとを巻き込んでいくことで広がった」と、約1ヶ月の準備期間とは思えないスピード感と多岐にわたるオンラインでのコミュニケーションツールを駆使した内容となった。

特徴的だったのは、ツールを多用するとデバイスのスペックやバージョンによっては参加障壁が上がってしまうが、そこを危惧してやめてしまうのではなく、新しい体験も届けようとする攻めの姿勢だ。「078Kobe」がもともと持っている実験を楽しむ場をオンライン上でも

実施していた。

例えば、オンライン Meetup 会場に使用された「Airmeeet」はインドのベンチャーがリリースして間もないイベント向けオンライン懇親会のプラットフォーム。新しいツールも積極的に使用し、そのノウハウもオープンにしていきたいとしている。

「078Kobe ONLINE」のクロージングでは、共同実行委員長の藤井さんが「本来は年1回のイベントだったけれど、オンライン開催が加わり、チャンスがふえた。実験都市神戸として、小さな種が生まれたと思う。あとはどう育てていくか」とオンライン開催の意義を伝えるとともに「制約があるからこそ、新しいものが生まれる」ともメッセージした。延期したオフラインでの開催は8月29日・30日、9月5日・6日を予定する。「バーチャルな場とリアルな場でのハイブリッドでどう価値を生み出し、つくっていくか考えなければ」と話す。

## 078Kobe とは？

テクノロジー、エンターテインメント、エデュケーションを横断させて、行政、企業、教育機関など、異ジャンルが交わり、実験都市を推進する市民参加型フェスティバル。2017年からスタートしている。



## 参加の選択肢も多様化

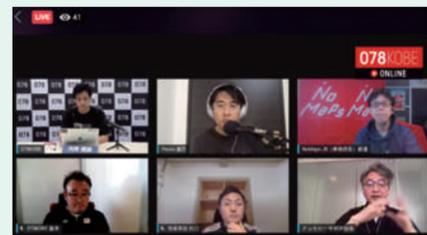
### プレゼン/音楽ライブ | cluster

#バーチャル渋谷でも話題になったバーチャルイベントプラットフォーム「cluster」。078Kobeでは、セッションでの一部プレゼンや音楽ライブの会場にclusterが活用された。



### パネルトーク | StreamYard

複数のプラットフォームに同時にライブ配信できる「Stream Yard」を使ってパネルディスカッションが行われた。投稿へのコメントを画面上に表示して双方向なライブ感の創出も。



### ネットワーキング | Airmeeet

078Kobeの魅力のひとつが出会い。オンラインイベントの課題でもあるが、「Airmeeet」を使用してOnline Meetupを行った。4人1テーブルでビデオチャットし自由に行き来する。



### トークイベント | dabel

音コミュニケーションのはしごが起こった「Dabel」と078KOBEのコラボ企画。「Dabel」は、配信ホストとリスナーがリアルタイムにコミュニケーションをとれる新しいアプリ。



### DJイベント | Zoom

動画配信だけでは面白くないと、ニューヨークのクラブなどでは先行しているビデオ会議システム「Zoom」を使ったClub DJ Liveを実施。参加者自身も一画面としてDJと並ぶ



\*<https://www.nytimes.com/2020/03/25/style/new-york-nightlife-goes-online-coronavirus.html> より

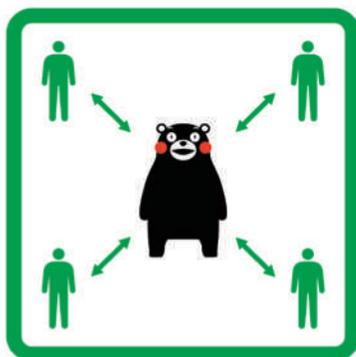
## くまモンと一緒に新しい生活スタイルを！



©2010kumamoto pref.kumamon



手を洗うモン  
#WashHands



くっつかないモン  
#KeepDistance



換気をするモン  
#OpenWindow